



感染症週報



小笠原での流行状況

第34週（8月17日 から 8月23日まで）

父島 感染性胃腸炎、インフルエンザの報告がありました。

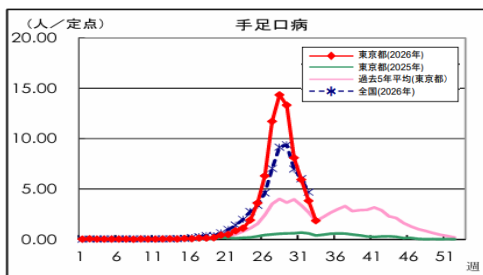
母島 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告がありました。

東京都全体での流行状況

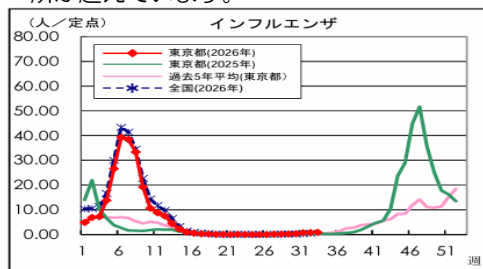
第33週（8月10日～8月16日）

【今週の注目される 定点把握対象疾患】

- 手足口病の定点当たり報告数は1.85と減少していますが、警報発信の基準値を超えた保健所の管轄する人口の総計が、都全体の30%を超えているため、警報レベルが継続しています。



- インフルエンザの定点当たり報告数は0.91で増加傾向です。流行開始の目安となる定点当たり報告数1.0を、8保健所が超えています。



※ 5例以上発生時に実数報告としています

夏に増える尿路感染症



汗をかく季節は、膀胱炎などの尿路感染症が増えます。

なぜ夏に増えるの？

- 汗で水分が失われ、尿の量が減るため、細菌が洗い流されにくくなります。
- 外出先や作業中にトイレを我慢すると、細菌が膀胱にとどまりやすくなります。
- 高温多湿で下着の中が蒸れ、菌が増えやすくなります。

こんな症状に注意

- 排尿のときの痛み、しみる感じ
- 何度もトイレに行きたくなる（頻尿）
- 残尿感、尿のにごり、下腹部の違和感
- 38度以上の発熱、腰や背中痛み、吐き気**



発熱や腰の痛みがあるときは腎臓に炎症が及んでいるおそれがあります。早めに受診してください。

今日からできる予防

- こまめに水分を のどが渇く前に少しずつ（食事以外で1日1～2L程度）
- 我慢しない 尿意を感じたら早めに、3～4時間ごとを目安に
- 清潔を保つ 排便後は前から後ろへ拭き、通気のよい下着を

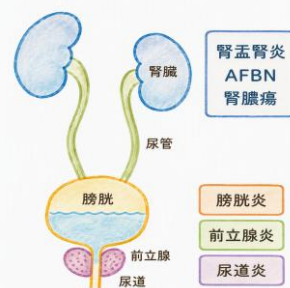


感染症メカ

「尿路」とは尿が作られて体外に出るまでの通道のことです。腎臓で作られた尿は、尿管を通して膀胱にたまり、ある程度たまると尿道から排出されます。この経路のどこに感染するかで、「膀胱炎」や「腎盂腎炎」等の名前がつけます。女性は男性より尿道が短く、発症頻度は男性の数倍と言われています。原因菌は私たちの腸にもいる「大腸菌」が8割を占めており、必ずしも「外から来た特別な菌」ではありません。

水分をとり、我慢せず、清潔に。

夏の尿路感染症は毎日の心がけで防げます。



AFBN: 急性巣状細菌性腎炎



習慣にしよう！

感染予防の基本は手洗い

東京都島しょ保健所小笠原出張所